



平成 18 年 6 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社イチャ
代表者名 代表取締役社長 吉岡公和
(J A S D A Q コード 9 9 6 8)
問合せ先 取締役財務部長 曾我部達雄
電 話 0 8 8 - 8 2 3 - 2 6 3 8

チャンピオンリソース株式会社の株式取得後の経過及び役員変更のお知らせ

当社が、平成18年5月25日発表のオーストラリアのチャンピオンリソース株式会社（以下、「チャンピオンリソース社」と言う。）の株式80%を取得し、当社の子会社といたしました件につき、下記のとおり補足説明及び役員の変更を行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 株式取得の経過状況

平成 18 年 5 月 25 日取得の件について、当社の取締役会にて決議後、翌日 26 日に同社の臨時取締役会が開催され、現存株主の所有する同社株式の当社への譲渡について、承認決議されました。これに基づき、株式譲受代金の支払いを完了させ、株式の譲受手続きは完了しております。

2. チャンピオンリソース社の補足説明

今回、当社が子会社といたしましたチャンピオンリソース社は、オーストラリアでも特に有望な金の産出地であるニューサウスウェールズ州のラクラン褶曲帯に 9 箇所（約 2,600 平方キロメートル）に金の踏査ライセンスを保有しております。

「金の踏査ライセンス」とは、その地域において試掘を行い、金脈が実際あるかどうかの調査を行う権利であり、発見された金の所有権は踏査ライセンスの保有者（この場合、当社の子会社のチャンピオンリソース社）のものとなります。また、金以外の資源が発見された場合も同じです。

現在、チャンピオンリソース社は、今までこれらの地域ではあまり採用されていなかった最新鋭の航空磁気測量データの解析により有望な試掘予定地を探し出すために、4名の地質学者をフルタイムで雇っています。

チャンピオンリソース社の持つ9箇所のライセンス市域のうち、YEOVAL（ヨーバル地区）に保有する 300 平方キロメートルの地域は、その南隣りで Newcrest Mining 社が年間 750,000 オンス（現在の市場価格で約 5 億米ドル）の金を産出しており、そこと同質の斑岩型の鉱質をターゲットとして試掘を始める予定です。また世界有数の金産出企業である Newmont Mining 社もこの地域で、チャンピオンリソース社の保有する踏査ライセンスの南に隣接する地域の踏査ライセンスを購入いたしました。

また、チャンピオンリソース社が、Weelah（ウイーラ地区）に保有する 300 平方キロメートルの踏査ライセンスは、これまでに 400 万オンス（現在の市場価格で約 26 億米ドル）の金が産出された鉱山（Barrick-Place Dome Cowal Mine）と南側の境界線を共有しています。すでにこの地域では、前述の航空磁気測量データの解析により、8 箇所の有望な試堀予定地が見つかっております。

また、チャンピオンリソース社の持つ、9 箇所の踏査ライセンス市域のうち 4 箇所の隣接地において、既に金鉱脈を発見した同業者より、その試堀作業を一緒（ジョイント）にしたいと申し出が既にされております。今後その契約を進めることにより、試堀作業のスピード化と経費負担の軽減を図ることが可能となります。

今後、踏査試堀作業を行い、金鉱脈の発見がなされた時点においては、以後の採鉱採掘を開始するには、インフラ整備を含めて多額の費用を要することになりますが、IPO（オーストラリアでは、既に踏査作業後におけるオーストラリア又はロンドンの証券取引所への上場会社が多数あります）による資金調達やJORC（銀行より融資可能の報告書）の作成により、オーストラリアの主力銀行からの融資を受けることが可能となっておりま

す。現状、当社においては、当社の早期な経営再建とM&Aを含んだ当社グループ企業として事業基盤の拡大を図っていくことを最大課題としております。また、そのため新株予約権発行により、事業資金の確保が現状できており、投資する金額は当社の財務状況に沿った範囲内とする所存であります。

3. チャンピオンリソース社の役員変更の件

チャンピオンリソース社が当社の子会社になったことに伴い、同社の役員を次のとおり変更し、その登録が完了いたしました。

<平成 18 年 5 月 26 日付>

【変更前】 代表取締役 ロブ・コグヒル
 取締役 キム・ライト
 取締役 イアン・ブレイデン

以上の 3 名全員は取締役を辞任し、同社の踏査スタッフとして引き続き、業務を行います。

【変更後】 代表取締役 テリー・シャナハン
 取締役 吉岡公和
 取締役 ジョシュア・ロジャース
 取締役 ピーター・ブラッドフィールド

(各取締役の主な略歴)

テリー・シャナハン

オーストラリアでのすべての資源業界で、35 年以上にわたる踏査経験を持ち、1983 年 ANZ 銀行の子会社デベロップメントファイナンスコーポレーションの代表者として、自然資源の投資運営を担当。

1994 年 レナードオイル Ltd、マグナグループ Ltd の会長就任

現在はファイナンス業務、ASX への上場アドバイスなど、コンサルタント業務を展開。

ジョシュア・ロジャース

1990 年よりファーストシドニーキャピタルのジェネラルマネージャーを務め、ファイナンス業務、ベンチャーキャピタルファンドの設立、資源業の分野の上場を行う。

2002 年 オライエルの取締役社長就任

現在は、プライベートエクイティファンドマネージャーであるミッチェルモーガン社の社長である。

ピーター・ブラッドフィールド

オーストラリアのCRAグループ（後に英国「RTZ」と合併し、多国籍の鉱業・資源開発グループ企業「リオティント」となる）の役員歴任。

1991 年 ブラッドフィールドコーポレートサービスの代表取締役就任

1993 年 国立科学研究機関「CSIRO」の役員就任

1996 年 シドニーオリンピックUKビジネスタスクフォースへ執行役員として参加

現在は、カウンセラーズオブマネージメント Inc（ワシントンDC）の役員。

4. まとめ

当社が、その株式 80%を取得し子会社といたしましたチャンピオンリソース社は、このように非常に有望な地域に金の踏査ライセンスを持っています。この度、今までの人材に加え、さらに経験豊かな人材を役員に迎えたことで、一層有望な金鉱の発見に向けての可能性が高まったと確信しております。

また、当社といたしましても、最近の金価格の上昇もあり、ロシア連邦サハ共和国に保有する株式会社サハズロト（保有比率 50%）も加えた、海外における金の採掘事業に本格的に取り組んでまいります。

以 上

<ご参考>

： オーストラリア視察時撮影



2006 年 4 月 27 日

トゥルモアー地区（ライセンス所有）エリア
入り口にて



2006 年 4 月 27 日

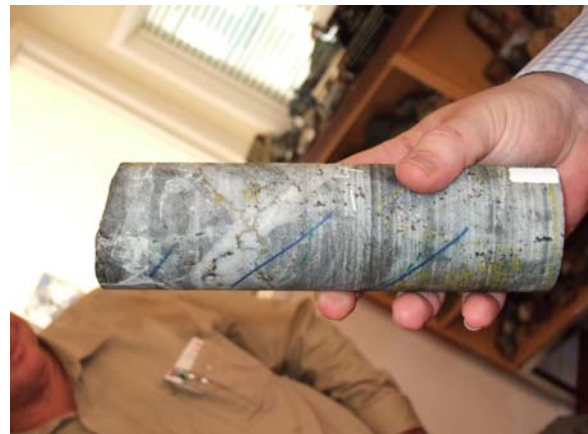
ヨーバル地区（ライセンス所有）エリア入り
口にて



2006 年 4 月 26 日

ヨーバル地区エリアにて

左から ○地質学者 テリー リチャード
○ミッチェルモーガン社 ジョシュ
ア ロジャース社長
○㈱イチャ 吉岡公和
○ 同 和田晃
○地質学者 ロバート、マーシャル
マクレナン



試掘（ボーリング）によって採取した円筒状
の調査用石塊

以 上